

6月議会が始まりました

6月議会が、6月14日に開会しました。今議会に提案された補正予算のうち主なものを紹介します。

公共施設や学校などの外壁の緊急点検予算

震災後、点検が行われていない公共施設に対して、内外壁の落下防止を目的に、点検予算が提案されています。

- 市営住宅外壁緊急点検…1億3700万円
- 公共施設の内外壁や天井の緊急点検…1億3200万円
- 学校（幼稚園含む）施設の外壁緊急点検…2億5000万円

消費税増税に伴う介護保険料の軽減予算

介護保険料の軽減予算が提案されています。保険料の軽減には賛成ですが、消費税増税10%を財源にするのではなく、福祉予算の増額で対応すべきです。

- 介護保険料軽減のための予算…4億4722万円

第一段階	40,560円	→	30,420円
第二段階	50,700円	→	40,560円
第三段階	60,840円	→	58,812円



風しん対策 検査および予防接種経費

風しんの抗体保有率の低い世代（1962年4.2～1979年4.1生まれの方）を対象とした抗体検査および予防接種に係る費用

- 検査・予防接種費用…1億2520万円

未婚の児童扶養手当受給者に対する臨時・特別給付金

通常の児童扶養手当に1万7500円を上乗せして支給。

- 予算…3290万円

日本共産党 市議会だより

熊本市中央区手取本町1-1 3階
発行：日本共産党熊本市議団
上野みえこ なすまどか

NO. 1144
2019年6月16日号
電話 328-2656
FAX 359-5047



メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

HP：共産党 熊本市議団

検索

防災減災対策…国土強靱化計画に基づく整備

- 国県道・市道整備…12億1600万円
- 熊本駅白川口駅前広場整備…3億1130万円
- 河川整備事業…1億1000万円

道路舗装状況調査

熊本地震後、市の管理する道路3700kmのうち1400kmが平坦性に劣るとの調査結果が示されました。これを受け、道路整備の優先順位や整備計画を立てていくために計上されています。

- 調査経費…5000万円

その他、災害救助基金積立…3億3200万円、閉校した旧松尾東・西・北小学校の利活用に向けた整備…4950万円、受動喫煙防止のための周知・啓発経費…680万円、熊本城小天守の復旧経費…1億3500万円などが提案されています。

【控室から】
最低賃金1000円以上は可能！
なすまどか



朝早くから働き、残業をしても豊かな暮らしを送ることができない「ワーキングプア」という社会問題は依然改善されていません。
先進諸国において、時給1000円以上と定めている国は少なくありません。それと比較し、日本の最低賃金はあまりにも低いと言わざるを得ません。日々の安定した暮らし、将来への展望を保障するためには、最低賃金の抜本的な引き上げが必要です。
私はかつて、「熊本の最低賃金で一カ月暮らす」という取り組みに参加したことがあります。手取りは10万円程度、そこから家賃や光熱費を払い、食費を節約しながら暮らしましたが、好きな本も買えない、映画なども行けない、冠婚葬祭などがはいると赤字になる、病気もできないなど、「最賃での生活がこれほどきついのか」と実感したことを思い出します。
最低賃金を1000円に引き上げるため、中小企業への支援も含め必要な予算は7000億円です。在日米軍への思いやり予算は、4000億円を超えます。税金の使い方、集め方を改めれば、必ず時給1000円は実現できます。8時間働けばまともな生活が送れる社会の実現へ向け頑張ります。

オープンまで約半年の熊本城ホール 事業成功には市が責任を持つべき

指定管理者任せで、申し込み状況・稼働率もはっきりしない

「熊本城ホール」のオープンが、いよいよ半年後に迫りました。こけら落としの催しなども公表されてきていますが、一番大切な利用見通しについては、指定管理者任せで、詳細な申し込み状況や稼働率もはっきりしません。

その場で回答のなかった利用状況

5月に行われた議会への主要事業説明の中で、申し込み状況について質問をしたところ、その場ではわからないということだったので、資料提供を求めています。後日届けられたのが、下記の問い合わせ・申請状況一覧表でした。

メインホール・多目的ホール・イベント展示ホールそれぞれの問い合わせ・申請状況はわからず、すべてが一緒になったデータでした。しかも、各月ごとの数値もわからないという、大雑把なものでした。

市民への説明責任を果たすべき

ホール毎に、利用日数・稼働率をはっきりさせ、きちんと公表すべき、市民への説明責任です。指定管理者に管理を任せているとはいえ、市が申し込み状況を常に詳細に把握し、450億円もの税金をつぎ込んでいる市政史上最大のハコモノ「熊本城ホール」の事業に責任を持つべきです。

*メインホール・多目的ホール・イベント展示ホールの利用状況

熊本城ホール問合せ・申請状況

	2019 年度			2020 年度			2021 年度		
	4月末	(1月末)	増減	4月末	(1月末)	増減	4月末	(1月末)	増減
使用許可申請済	12	10	2	10	10	0	2	2	0
手続中	38	23	15	40	25	15	8	5	3
誘致中	43	39	4	31	12	19	11	8	3
合計	93	72	21	81	47	34	21	15	6

「本庁舎建替え問題」説明会 事業費も示して丁寧な説明をすべき

建設費 400 億円説明せず、建替えありきには納得できない

6月3日から始まっている「市庁舎建替え問題」の市民説明会に、市議団からも参加しました。

全市民的議論が必要な課題に、少ない参加者

党市議団から参加した東区秋津公民館の説明会には、10数名の参加者でした。事業費が400億円規模となる市政の大事業、全市民的

議論がもとめられますが、あまりにも少ない参加者です。このような状況では、説明を尽くしたとは言えません。

事業費も示さない説明に疑問の声

市の説明は、①38年経って老朽化等がすすんでいる、②耐震基準を満たしていない、③耐震補強工事が実現困難、というという市政だより6月号でも紹介されていた「建替えありき」のビデオを上映し、事業費400億円には一切触れ

ず、質問・意見を求めるもので、専門的な知識もない市民に、「建替えしか道がない」ということに納得を迫る説明会でした。積極的にすすめよという意見もありましたが、多くの参加者はコメントすらできない内容です。

<説明会での意見を一部紹介します>

- ビデオは建替えが前提で、建て替えを納得してくださいというものだった。建替え、改修の事業費等、比較はしなかったのか。
- ビデオは建替えですすめるというものだったが、私たち市民には理解できない。説明が漠然としている。
- 現地に建て替える場合、14階になるのか。区役所もできているので小さくてもいいと思う。
- 老朽化というが、市役所だけが劣化と言ってほしくない。